

照陽の家だより

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
TEL 0859-21-8151

今年も6月半ばを過ぎ梅雨入りも間近となりましたがいかがお過ごしでしょうか？
5月の青葉に目を洗われ6月の薔薇の香りに心地よさを感じ外出支援も活発にする中、利用者様の体調もそれぞれ安定してお過ごし頂いています。さて、恒例のちまき作りを6月3日(月)に行いました。下準備の段階から利用者様にも手伝って頂き笹の葉の香りに包まれながら「立派な笹だねえ。」「良い香りだわあ。」等会話が弾んでいました。当日は、沢山の利用者様に参加して頂き50個のちまきがあっという間に完成しました。おやつで出来立てを食べると「なんと美味しい!」と皆さんとてもいい顔をされました。私達はこれからも四季の行事や習わしを利用者様と共有する時間を大切にしていきたいと思ひます。



ちまき作り

とっとり花回廊ばら祭りへ出かけました。花回廊に入ると数えきれないほどの薔薇の種類が目に飛び込んできました!これほどの薔薇をこんなに見事に咲かせて下さり、手入れをされておられる花回廊の人はすごい!と利用者様、職員みんなで感動、感謝の外出支援となりました。



★花回廊 バラ祭り★



令和6年度 第1回 運営推進会議開催

5月17日(金)午後15時よりお日様交流室にて開催しました。参加者は米子市長寿社会課、米子市義方・湊山地域包括支援センターの職員の方々、運営推進委員の皆様、職員9名です。運営状況並びに活動状況の報告後、地域課題について活発なディスカッションタイムを持ちました。次回は7月19日(金)を予定しています。

水彩画教室開催 (講師 森井裕子さん)

米子の旧城下町には現在でも多くの町屋と呼ばれる商家が残っています。この街並みを紹介するブックレットの中には、とても繊細で優しい彩の装画が多数使用されています。この装画を手掛けられたのが「蔵りすと」と森井裕子さんです。利用者様のご縁でこの度、森井さんを講師にお招きし水彩画教室を開催する運びとなりました。5月20日に初の教室が開催され4名の利用者様が参加されました。題材は先生が用意された菜の花です。水筆の使い方を教わりながら一人ひとり思いのまま画材に向き合っておられました。傍で鑑賞している私自身も、お絵かきに夢中だった子供時代を思い出し自分でもやってみてみたい気持ちがいっぱいになりました。(相談員 東 千春)

次回は6月17日(月)13:30開催です、お楽しみに!



照陽の家には訪問看護ステーションハートケアがあります。
訪問看護とは看護師がご自宅を訪問し看護ケアを提供し療養生活を支援するサービスです。

6月研修: 身体介護(トイレ)

職員の為のスキルアップ研修を行いました。今月は排泄介助(トイレ介助)です。排泄介助の方法は様々あり、その方に合った方法、その時の状況によって変わる場合もあり、どんな時でも対応できる技術、対応の仕方を我々介護士は身につけておかなければなりません。「プライバシーや羞恥心に配慮し、尊厳を傷つけない」ということを念頭に置いて職員同士で意見を出し合いながら勉強しました。(研修指導者 入江友紀)



6月研修: 感染対策

感染対策研修を行う目的は、高齢者施設の職員が感染症について正しい知識を持ち感染防止に係る技術を習得することにより、感染拡大防止を図る為です。今年度の研修では感染対策の基本と標準予防策の重要性を普段の自身の感染対策を振り返ってもらいながら行いました。感染対策を正確に理解し必要時に正しく実行できる事が重要となります。また、厨房職員には食中毒予防についての研修も重ねて行いました。湿度の高い梅雨の時期を迎えるにあたって、衛生管理の必要性や食品衛生の基本はまず手洗いであることをお互いに確認し合っただけの研修でした。リスクの高い利用者様を守るために徹底した感染対策を今後も継続して参ります。(感染対策委員長 石場圭子)

